

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 96 2016年4月

発行：日本信頼性学会
東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4 階
一般財団法人日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会 第 24 回春季信頼性シンポジウム発表募集 【追加募集】

- (日 時) 2016年5月23日(月) 13:00～19:00(時間は予定です)
(会 場) 一般財団法人日本科学技術連盟 東高円寺ビル
(主 催) 日本信頼性学会
(後 援) 一般財団法人日本科学技術連盟
(協 賛) 公益社団法人応用物理学会、一般社団法人電子情報通信学会、一般社団法人電気学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本経営工学会、一般社団法人日本品質管理学会、特定非営利活動法人安全工学会、研究・イノベーション学会、公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会、一般社団法人日本開発工学会*、一般社団法人日本シミュレーション学会、一般社団法人日本人間工学会、一般社団法人プロジェクトマネジメント学会、IEEE Reliability Society Japan Joint Chapter (*は依頼中)

<発表のおすすめ>

例年のごとく総会に併せて春季信頼性シンポジウムを開催いたします。わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思っておりますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思えます。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、安心できる社会を築くことが重要であります。

ディペンダビリティ技術の発展のために、当シンポジウムで新しい研究・開発・適用事例・改善事例などの経験を発表いただくようお願い致します。優秀な発表に対して、優秀賞・若手奨励賞を贈ります。

<学会誌への投稿推薦のお知らせ>

各セッションの発表の中から優秀なもの1～2件を選出し、ショートノートあるいはケーススタディ(希望があれば原著論文としても受け付けます)として学会誌「信頼性」への投稿を推薦しています。推薦された発表が投稿された際には、通常よりも短い期間で審査が行われます(ただし、原著論文の場合は審査に時間が掛かる場合があります)。また、推薦された論文が掲載可と判定された場合には、掲載時に必要となる諸費用が一部免除されます。

<予定セッション構成>

1. [組織、管理、規格、プロジェクト管理面]: 生産システム、組織改革、管理手法などの改善によって信頼性の維持・向上および保証を計った事例。管理手法適用事例、人間信頼性、社会との関わり、または新手法。
2. [試験、故障解析、部品、要素技術の信頼性、ハードウェア面]: 部品又は機器レベルの設計・製造・試験・故障解析、物性(接続、接着、腐食、摩耗、疲労、マイグレーションなど)、全ハードウェア一般の研究・開発・保証事例・改善事例。
3. [システムの信頼性、保全性、ライフサイクルおよびソフトウェア面]: システムまたはソフトウェアの信頼性、保全性、ライフサイクルコスト、リサイクル、リユース、保全支援活動の設計、解析、保証事例・改善事例など。

4. [安全性, リスク]: 産業安全, 製品安全, リスク解析など.
5. [データ収集, 解析]: 情報システム・ネットワークのモニタ, 遠隔・多量・自動データ計測, ノイズ解析など高信頼システムの設計評価に係わるデータ観測収集技術, 新データ探索など.
6. [理論, 一般]: 基礎理論, 数学的技法, モデル化と統計的解析など.

＜参加費と発表者の特典＞

[シンポジウム参加費]正会員・賛助会員・協賛学協会会員 2,000 円, 非会員 3,500 円, 学生 1,000 円
[情報交換会参加費] 2,000 円 発表者は情報交換会にご招待いたします.

＜発表申込方法＞

「発表申込書」に発表概要を記載の上, 電子メールにてお申し込み下さい. 申込書の Word ファイルは学会ホームページ <http://www.reaj.jp/>にあります. または, 学会誌 3 月号の申込書をコピーして FAX にてお申込ください.

申込期限 2016 年 4 月 18 日 (月) まで【延長しています】
審査結果 2016 年 4 月 22 日 (金) 頃までにご連絡いたします.
発表原稿締切 2016 年 5 月 6 日 (金) ワープロで A4 判 2 枚または 4 枚
申込先 日本信頼性学会事務局 FAX 03-5378-9842 E-mail: reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

当研究会は, 信頼性シンポジウム, 学会誌『信頼性』, 解説書 (『ライフサイクルコストリング—研究会は, 信頼性シンポジウム導入と適用事例—) の発行を通じて, Lcc (Life cycle costing) に関する様々な研究成果を発表するとともに, Lcc の啓発活動もおこなっています.

年に 4 回ほど, 原則として金曜日の夜に東高円寺の日科技連ビルに集まり, 2 時間にわたる研究会を開催しております. 前半の 1 時間は情報交換と称し, 各メンバーが前回研究会から研究会当日までの間に収集した Lcc に関する情報提供などを行います. 後半の 1 時間は毎回担当を決めて各自の最新の研究成果を報告し, 質疑応答および討論を行います. なお, 研究会メンバーだけではなく外部からゲストスピーカーを招き, Lcc に関連性のあるトピックスで講演いただく場合もあります. 当研究会以外のメンバーの参加も大歓迎です.

私たちと一緒に Lcc の研究を進めてくださる仲間を募集しています. Lcc に少しでも関心がある方は, ぜひ研究会の会場にお越しください. お待ちしています.

(日 時) 2016 年 5 月 13 日 (金) 18:00~20:00

(場 所) 日本科学技術連盟 東高円寺ビル会議室 (杉並区高円寺南 1-2-1)

(東京メトロ丸ノ内線東高円寺駅から青梅街道を新宿方向へ徒歩約 5 分, 「和田三丁目」交差点手前)

(連絡先) 研究会主査 門奈 哲也 ged01402@nifty.com

同 副主査 夏目 武 natsume@kiu.biglobe.ne.jp

詳細は, http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45 をご参照ください.

日本信頼性学会 故障物性研究会 6 月例会 (第 126 回)

(日 時) 2016 年 7 月 1 日 (金) 13:00~17:00

(場 所) 日本科学技術連盟本部 Room-E (東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4 階)

(高円寺ビルではありません。お間違えのないようお願いいたします。)

議題等, 詳細は学会誌 5 月号に掲載いたします.

横幹連合 2016 年度定時総会

(日 時) 2016 年 4 月 27 日 (水) 14:00~18:30

(主 催) 横断型基幹科学技術研究団体連合

(共 催) 日本信頼性学会 他

(会 場) 東京大学・本郷キャンパス (山上会館 大会議室)

(プログラム)

14:00~15:15 特別講演：第 5 期科学技術基本計画の基本構想と推進／
横幹連合に期待すること (仮題)

講演者：原山優子氏 (内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員)

15:30~16:20 議事

16:25~16:55 木村賞表彰, 受賞論文紹介 受賞者：佐藤彰洋氏 (京都大学)

17:10~18:30 懇親会 山上会館 食堂 (参加費 3,000 円)

(問合先) 横幹連合事務局事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-35-28-303 (公社)計測自動制御学会 事務局内

Tel.Fax 03-3814-4130 E-mail: office@trafst.jp

電子情報通信学会信頼性研究会

(日 時) 2016 年 5 月 28 日 (土), 6 月 17 日 (金)

以降, 7 月, 8 月, 10 月, 11 月, 12 月, 2017 年 2 月に開催予定

(主 催) 電子情報通信学会信頼性研究専門委員会

(共 催) 日本信頼性学会

(会 場) 5 月 28 日：ウインク愛知 (愛知産業労働センター 名古屋市)

6 月 17 日：機械振興会館 (東京都港区)

(参加費) 無料 (技術研究報告は 1,500 円にてご購入いただけます (任意))

(問合先) 電子情報通信学会信頼性研究専門委員会 幹事 岡村寛之先生 (広島大学)

E-mail: okamu@rel.hiroshima-u.ac.jp

詳細は, <http://ieice.org/~r> よりご参照ください。会場等, 決定次第公開いたします。

ロボティクス・メカトロニクス講演会 2016 未来社会を創造するロボティクス・メカトロニクス

(日 時) 2016 年 6 月 8 日 (水) ~11 日 (土)

(主 催) 日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) パシフィコ横浜 (主会場), 横浜市開港記念会館, 赤レンガ倉庫, 大さん橋ホール

(概 要) ROBOMECH2016 は 2016 年 6 月 8 日(水)~11 日(土)の日程でパシフィコ横浜をポスター講演会場にして開催致します。パシフィコ横浜はみなとみらい 21 地区に位置するコンベンションセンターであり, 3300 平方メートルの展示ホールが今回の会場となります。ワークショップ・チュートリアル, 部門登録者総会・懇談会, 公開講座は近代建築である横浜市開港記念会館, 赤レンガ倉庫で開催致します。周辺には, ほかにも近代建築が多く残されています。

懇親会会場の大さん橋ホールでは港の景観を楽しむことができます。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(問合先) ROBOMECH2016 実行委員会

E-mail: robomech2016@jsme.or.jp

詳細は、<http://robomech.org/2016/> よりご参照ください。

日本人間工学会第 57 回大会

(日 時) 2016 年 6 月 25 日 (土) ~26 日 (日)

(主 催) 日本人間工学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 三重県立看護大学 (三重県津市夢が丘 1 丁目 1 番地 1)

(参加費) 会員・協賛学会員 10,000 円, 非会員 12,000 円

(5/13 までの事前割引: 会員・協賛学会員 8,500 円, 非会員 10,000 円, 学生割引あり)

(問合先) 日本人間工学会 第 57 回大会運営事務局

【事務局】 日本人間工学会第 57 回大会事務局

三重県立看護大学 斎藤 真 氏 (大会長)

三重県津市夢が丘 1 丁目 1 番地 1

【運営事務局】 株式会社ドーモ 内

東京都千代田区永田町 2-9-6 十全ビル 4 階

TEL03-5510-7923 FAX03-5510-7922 E-mail : jes2016@do-mo.jp

詳細は、<https://www.ergonomics.jp/conference/2016> よりご参照ください。

安全工学シンポジウム 2016

日本学術会議主催「安全工学シンポジウム 2016」は、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等の開催が予定されております。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

(日 時) 2016 年 7 月 7 日(木)~8 日(金)

(会 場) 日本学術会議 (東京都港区六本木 7-22-34) 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅

(主 催) 日本学術会議 総合工学委員会

(共 催) 日本人間工学会他 31 学協会

(参加登録予約申込締切) なし。当日直接会場にお越し下さい。

(参加登録費) 無料。講演予稿集は希望者に配布します。

(予価 1 部 5,000 円。但し、学生は 1 部 2,000 円)

(注意事項) 会場内における参加者個人での録音、撮影は禁止いたします。

(申込先・問合先) 日本大学生産工学部 鳥居塚研究室

TEL047-474-2615 (直通) FAX 047-474-9759

E-mail : anzen2016@gakkai-web.net

詳細は、<http://www.anzen.org/index.html> をご参照ください。

マテリアルライフ学会 第 27 回研究発表会, 特別講演会

(日 時) 2016 年 7 月 14 日 (木) ~15 日 (金)

(主 催) マテリアルライフ学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 滋賀県立大学 交流センター (滋賀県彦根市八坂町 2500)

(概 要) マテリアルライフ学会「第 27 回研究発表会」を, 滋賀県立大学 交流センターで開催いたします。本センターは, 開かれた大学を目指す同大学が学术交流や人材交流を目的に設置した施設であり, 材料や製品の寿命や耐久性, エコマテリアルなどマテリアルライフを研究している研究者が日頃の成果を発表するにふさわしい会場です。研究発表会は例年通りセッション制にて行いますので, 下記募集内容をご確認の上, ご応募ください。皆様のご発表をお待ちしております。

(研究発表申込) (1) 申込締切: 2016 年 3 月 31 日 (木)

(2) 発表募集件数: 35 件

(3) ホームページの「発表申込フォーム」からお申込ください。

(問合せ先) マテリアルライフ学会

東京都中央区日本橋茅場町 2-6-8

TEL03-5695-6544 FAX03-5695-1939 E-mail: mls@kt.rim.or.jp

詳細は, <http://materials-life.org/> よりご参照ください。

行事予定 下線は本学会主催行事

| 名 称 | 開催地 | 開催日 | 申込 | 参 照* |
|--|---|--------------|-----------|---|
| <u>故障物性研究会</u> | 日科技連 東高円寺ビル | 2016/4/22 | | http://www.reaj.jp/ |
| 横幹連合 2016 年度定時総会 | 東京大学 本郷キャンパス | 2016/4/27 | | |
| <u>2nd International Conference on Mathematical Techniques in Engineering Applications (ICMTEA2016)</u> | Graphic Era University Dehradun, India | 2016/4/29-30 | | http://www.geuicmtea.com/ |
| <u>Lcc 研究会</u> | 日科技連 東高円寺ビル | 2916/5/13 | | http://www.reaj.jp/ |
| 日本計算機統計学会 第 30 回大会 | ハートピア京都 京都市 | 2016/5/19-20 | | http://jscs.jp/ |
| <u>日本信頼性学会第 38 回年次総会 第 24 回春季信頼性シンポジウム</u> | 日科技連 東高円寺ビル | 2016/5/23 | 2016/4/4 | http://www.reaj.jp/ |
| 電子情報通信学会信頼性研究会 | ウインク愛知 名古屋市 | 2016/5/28 | | http://ieice.org/~r |
| 横幹技術フォーラム | 日本大学経済学部 7 号館講堂 | 2016/5/31 | | http://www.trasti.jp/forum/forum47_kyg.html |
| 日科技連 第 102 回 品質管理シンポジウム | 箱根ホテル小涌園 箱根町 | 2016/6/2-4 | 2016/4/18 | http://www.juse.or.jp/qcs/ |
| ロボティクス・メカトロニクス講演会 2016 | パシフィコ横浜 他 横浜市 | 2016/6/8-11 | | http://robomech.org/2016/ |

| | | | | |
|--|--|---------------|------------|---|
| 日本人間工学会第 57 回大会 | 三重県立看護大学 三重県津市 | 2016/6/25-26 | | https://www.ergonomics.jp/conference/2016 |
| The 4 th Institute of Mathematical Statistics Asia Pacific Rim Meeting (IMS-APRM 2016) | The Chinese University of Hong Kong Hong Kong, China | 2016/6/27-30 | 2015/12/31 | http://ims-aprm2016.sta.cuhk.edu.hk/ |
| 故障物性研究会 | 日科技連 本部 (西新宿) | 2016/7/1 | | http://www.reaj.jp/ |
| 安全工学シンポジウム 2016 | 日本学会議 港区六本木 | 2016/7/7-8 | 2016/3/11 | http://www.anzen.org/index.html |
| 日科技連 第 46 回 信頼性・保全性シンポジウム | 日本教育会館 千代田区 | 2016/7/14-15 | | https://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/46rms |
| マテリアルライフ学会 第 27 回研究発表会, 特別講演会 | 滋賀県立大学交流センター/彦根市 | 2016/7/14-15 | | http://materials-life.org/ |
| Ordered Data and their Applications in Reliability and Survival Analysis: An International Conference in Honour of N. Balakrishnan for his 60th Birthday | McMaster University Ontario, Canada | 2016/8/8-10 | | |
| 2nd Pacific Rim Statistics Conference for Production Engineering | Hoam Center at Seoul National University Seoul, South Korea | 2016/12/15-16 | | |